



ノウ フク

(社福)白鳩会
が取り組む
農福連携

令和2. 2月

常務理事
中村 邦子

CONTENTS

- * (社福)
白鳩会の概要
- * 経営理念
- * 農福連携の
取り組み
- * 農福連携の
推進



白鳩会 45年のあゆみ

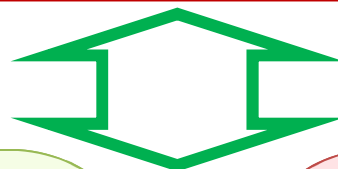


HANANOki FARM

- | | | |
|-------|-----------------------|------|
| 昭和47年 | 社会福祉法人 白鳩会 | 設立認可 |
| 昭和48年 | おおすみの園 | 開所 |
| 昭和53年 | 農事組合法人 根占生産組合 | 設立 |
| 昭和56年 | セルフおおすみ(現 花の木ファーム) | 開所 |
| 平成10年 | セルフ花の木(現 第2花の木ファーム) | 開所 |
| 平成12年 | 鹿児島市にアンテナショップ | 開設 |
| 平成17年 | 鹿児島市に花の木大豆工房 | 開所 |
| 平成19年 | 鹿屋市に地域活動支援センターおおすみ | 開所 |
| 平成20年 | 鹿児島市に花の木冷菓堂 | 開所 |
| 平成23年 | 鹿児島市に花の木冷菓堂ドルフィンポート店 | 開設 |
| 平成24年 | 鹿児島市に花の木カノン | 開所 |
| 平成25年 | 鹿児島市に放課後等デイサービス花の木カノン | 開所 |
| 平成25年 | 鹿屋市に白鳩会障がい者相談支援センター | 開所 |
| 平成28年 | 鹿児島市に相談支援事業所花の木 | 開所 |

花の木農場

農事組合法人 根占生産組合



おおすみエリア

入所施設

おおすみの園
花の木ファーム

通所事業所

第2花の木ファーム
地域活動支援センターおおすみ

グループホーム

おおすみ
ねじめ
花の木

その他

白鳩会障がい者相談支援センター
アンテナショップ(3カ所)

社会福祉法人

白鳩会

かごしまエリア

通所事業所

花の木大豆工房
花の木冷菓堂
花の木カノン

放課後等ディサービス

グループホーム

鴨池

その他

相談支援事業所 花の木
アンテナショップ(3カ所)





かごしまエリア

都市部の特徴をいかして

ものづくりと販売で社会と繋がる



花の木農場 計45.1ha

花の木農場Ⅰ 耕作面積
27.6ha

花の木農場Ⅱ 耕作面積
6.3ha



花の木農場Ⅲ
耕作面積 11.2ha

所有状況

白鳩会
9.8ha

根占生産
組合
9.1ha

借地
26.2ha



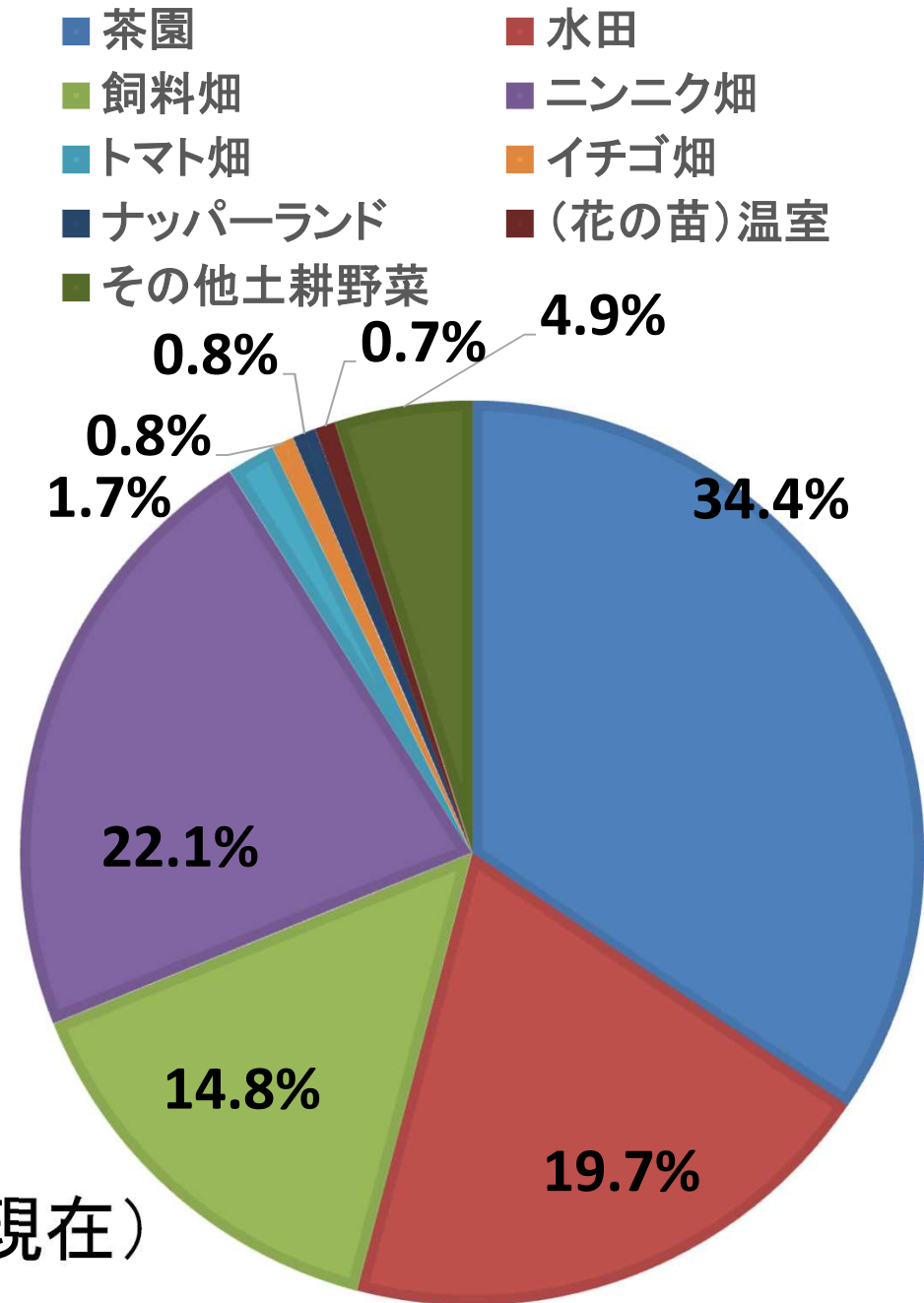
花の木農場

作付状況

(単位千㎡)

茶園	70.0
水田	40.0
飼料畑	30.0
ニンニク畑	45.0
トマト畑	3.5
イチゴ畑	1.6
ナッパーランド	1.7
(花の苗)温室	1.5
その他土耕野菜	10.0

計 203.3
(令和元. 6月現在)



平成30年度 施設等事業実績概要

《就労系事業所》

施設の名称	施設定員(利用人員/日)等	就労支援 事業収益 額 千円	就労支援 事業収益 割合 %	福祉サービス 等事業収 益割合%	備 考
法人全体	—	141,971	17.6	81.5	本部及びGHを含む
花の木ファーム	就労継続 A 10人 (7.9人) 就労継続 B 50人 (45.8人)	66,848	27.3	71.2	施設入所支援, 短期入所及びGHを含む
第2 花の木ファーム	就労継続 B 28人 (29.4人) 就労移行 6人 (1.6人)	53,577	35.8	63.2	生活介護及びGHを含む
花の木大豆工房	就労継続B 20人 (12.1人)	19,603	43.2	56.4	GHを含む
花の木冷菓堂	就労継続B 20人 (12.7人)	29,179	52.1	47.5	GHを含む

注;①就労支援事業収益割合＝「就労支援事業収入」／「事業活動収入計」×100

②福祉サービス等事業収益割合＝「障害福祉サービス等事業収入」／「事業活動収入計」×100

③「法人全体」の「就労支援事業収益額」は内部取引があるため各事業所の合計とは一致しない。

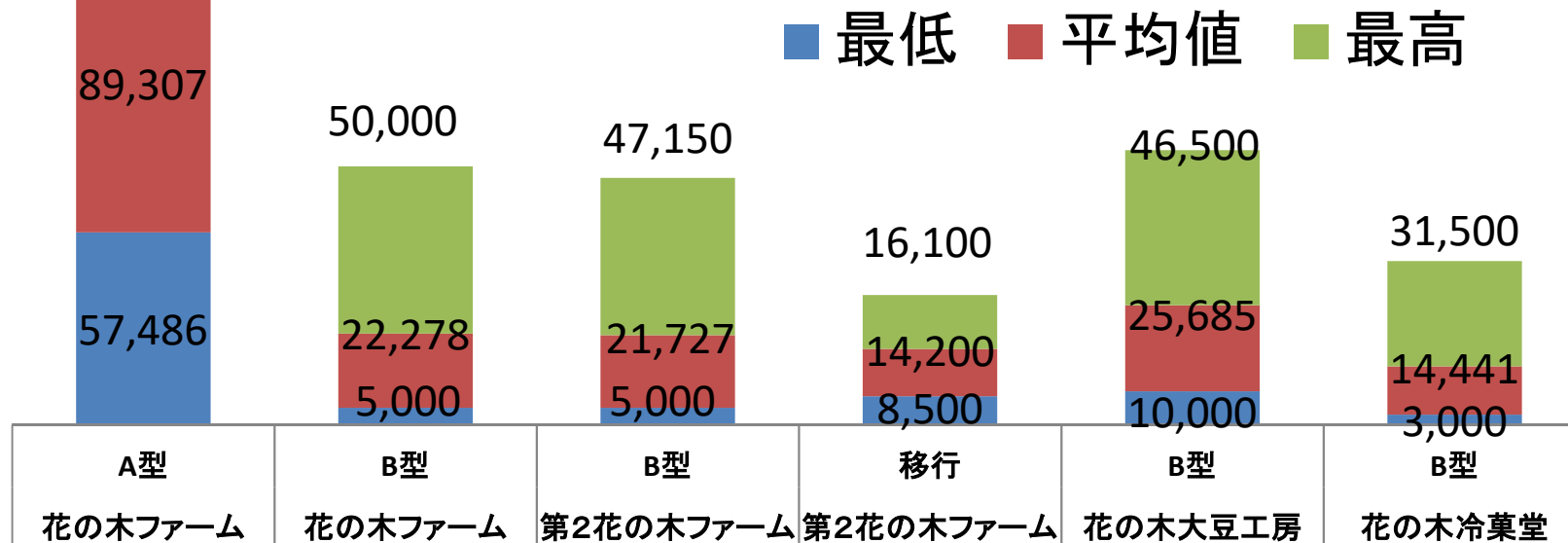
平成30年度 支払月額工賃(就労系)

(社福)白鳩会B型事業所

平均月額工賃 21,159円

(参考)平成29年度

全国平均月額工賃 15,603円



大規模農業(企業的経営)への挑戦

農事組合法人 根占生産組合

- ※土地の集積・生産基盤の整備などが可能
- ※農業共済,飼料購入などの支援策の活用が容易
- ※六次産業化による障がい者の自立支援
- ※地域農業との連携

(令和元年10月現在) 出資金 77.2百万円

雇用者数28人(パートを含む)

うち障がい者6人

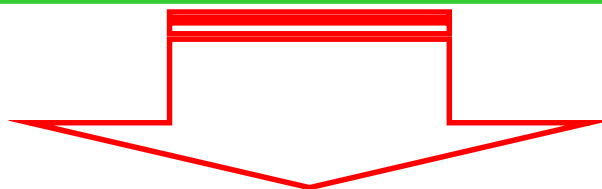
グループホーム入居 5人

自宅からの通勤 1人



農福連携への取り組み

- 障がい者の特性に応じた作業内容
 - 地域の特性
- 日本の食糧基地としての一翼を担う



農 業



- (社福)白鳩会と(農)根占生産組合の所有する農地等で農業生産を行う
- (農)根占生産組合と農作業など請負契約を結び、いわゆる「施設外就労」として農作業等に従事する
- 六次産業化による障がい者の経済的自立の促進

農福連携への取り組み

(社福)白鳩会

請負契約

(農)根占生産組合

《おおすみエリア》
花の木ファーム

(土耕)お茶
トマト
花

(加工)お茶 など

(畜産)豚の繁殖
第2花の木ファーム

(加工・生産)
ハム, ソーセージ
惣菜
パン など

(いわゆる「施設外就労」)

植付け, 草取り, 収穫,
出荷, 給餌, 豚舎清掃,
堆肥とり などの農作業
作業報酬

お茶の加工 地域の生産農家

売買契約

子豚の販売・肉の購入

賃金(A型)
工賃(B型)



賃金
(雇用)

工賃(B型)

《かごしまエリア》

花の木大豆工房 (加工・生産)豆腐, OEM

花の木冷菓堂 (加工・生産)ジェラード, 菓子, OEM

(水耕)
サラダほうれ
ん草
ルッコラ

(土耕)
水稻, お茶
ニンニク

(畜産)豚の肥育
牛の繁殖

販売

販売

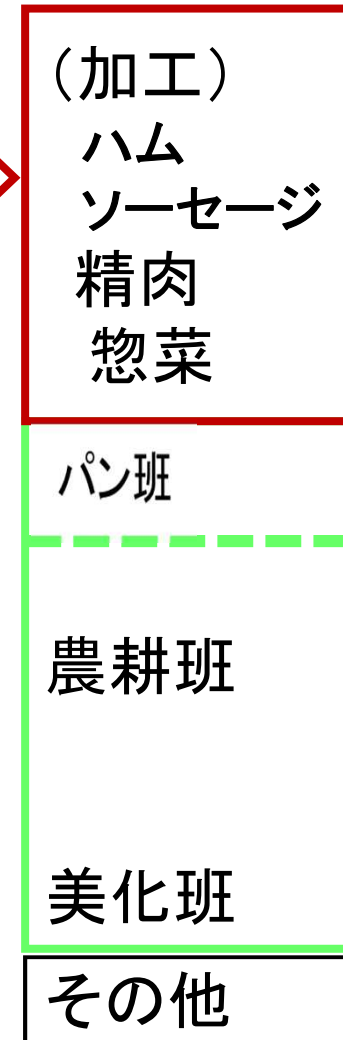
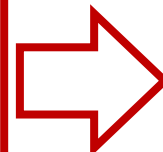
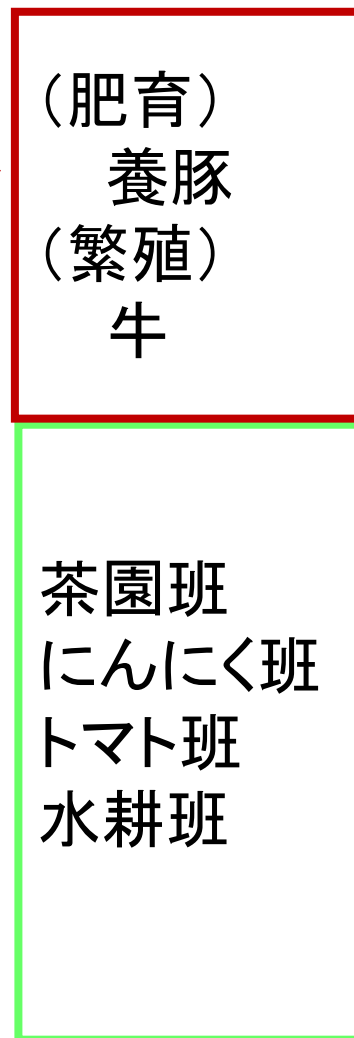
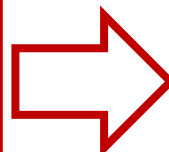
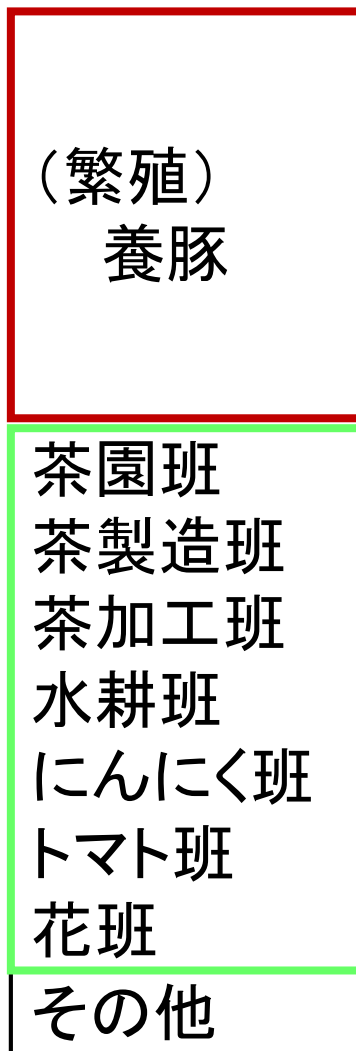


花の木農場の就労概況

花の木ファーム
(就労継続A・B)

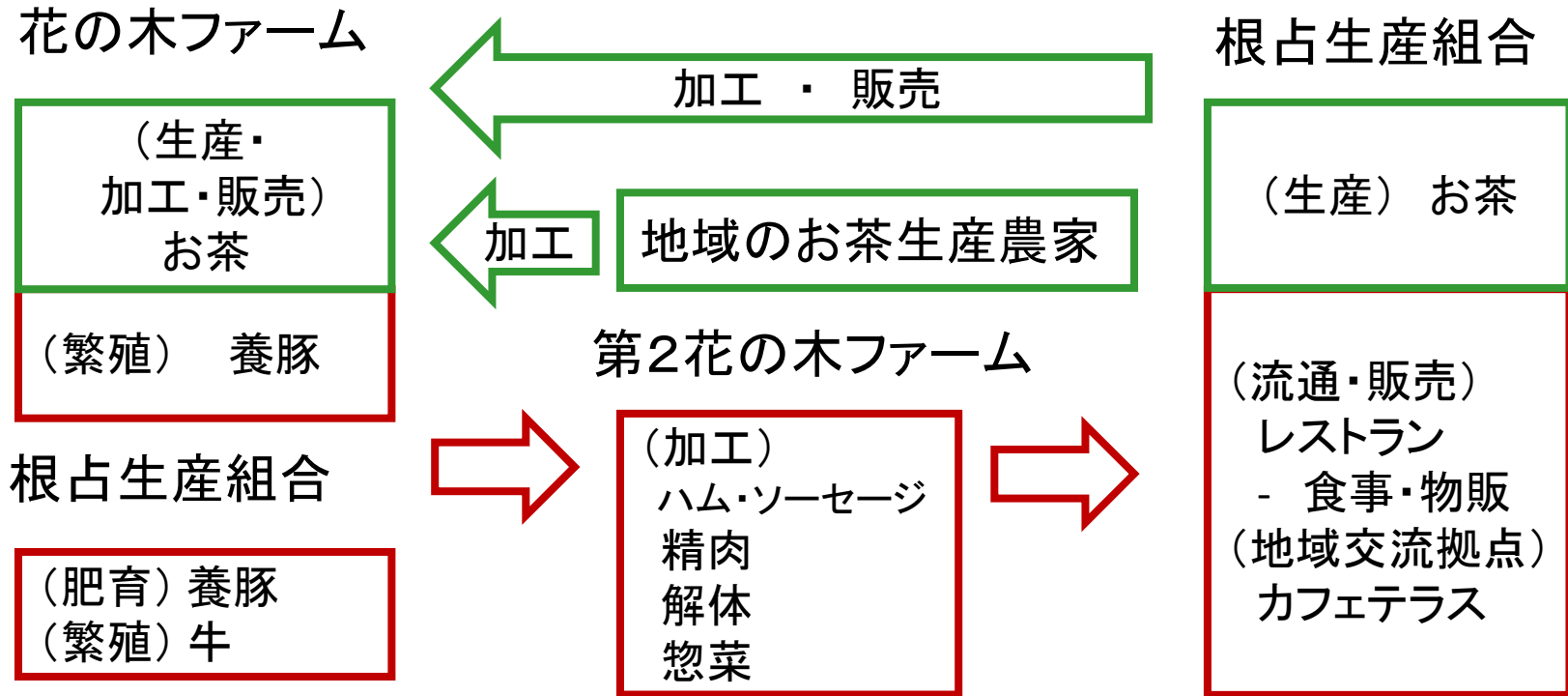
根占生産組合 第2花の木ファーム
(障害者雇用)
(就労移行・継続B)

8班
1班
当たり
職員
1~5
人
利用者
2~16
人



7班
1班
当たり
職員
1~2
人
利用者
1~12
人

(社福)白鳩会における六次産業化への取組み



- かごしまエリア
- 花の木大豆工房 : 豆腐製造・販売, OEM 他
 - 花の木冷菓堂 : ジェラート, 菓子製造・販売 他
 - 花の木カノン : 石けん製造・販売 他

農業集落等活動への参加

南大隅町の高齢化率は鹿児島県内第1位

	総人口	65歳以上	高齢化率	
平27.10.1	7,542	3,437	45.6 %	(国勢調査)
2020	6,377	3,137	49.0 %	(推計人口)
2025	5,366	2,882	53.7 %	(推計人口)

①農道・水保全等維持管理活動

年2回程度

②高齢単身世帯等の庭の草取り・清掃

年2回程度 町社協に登録

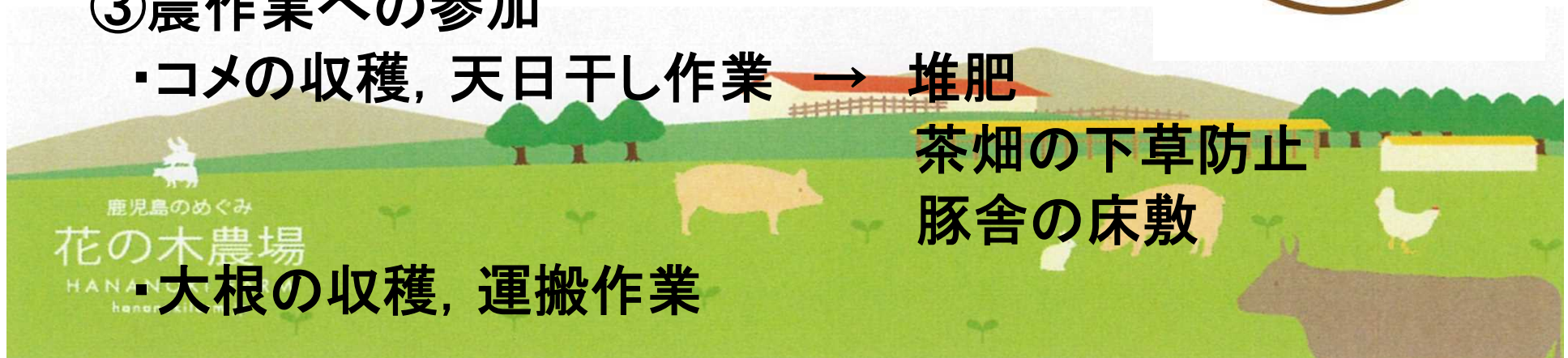
③農作業への参加

・コメの収穫, 天日干し作業 → 堆肥

茶畑の下草防止

豚舎の床敷

・大根の収穫, 運搬作業



障がい者雇用の促進

ノウ フク

白鳩会の取組

- 作業の多種目化
- 作業工程の分割
- 作業班の編成

作業内容の細分化による
ユニバーサルデザイン化
の推進

障がい者等
雇用の定着・推進

農福連携等推進ビジョン

令和元年6月政府決定

《抜粋》

(農業現場)

障がい者が取り組みやすいよう工夫することで、働き手としての可能性は大きく広がる。

生産工程や作業体系等の見直しを行い生産の拡大等農業経営の発展につながっている

(ユニバーサルな取組)

農業だけでなく様々な産業に分野を広げるとともに、高齢者、生活困窮者、引きこもりの状態にある者等の就労・社会参画支援、犯罪・非行した者の立ち直り支援等にも対象を広げ、捉え直すことも重要

花の木農場の農作業 (養豚作業)

<毎日行う業務>	
給餌、清掃(A)	8:00~10:00
給餌、清掃(P)	15:00~17:00
	(PM)清掃は分娩舎、種豚舎のみ
	(肉豚の給餌は13時~)

 : 職員が行なう作業

 : 職員に加え、能力の高い利用者が行なう作業

 : 全利用者が行なうことができる作業

<随時業務>					
離乳舎		分娩舎		肥育豚舎	
離乳舎受入	豚房・豚舎の水洗い、石灰散布	分娩受入	豚房・豚舎の水洗い、石灰の散布	水洗い	餌箱、豚房の水洗い
	保温箱・保温器具の設置		保温箱・保温器具の設置	補修工事	傷んだ柵など補修
仔豚移動	豚房毎に移動		のこくず・ワラの敷料	石灰散布	消毒の為、石灰散布
離乳豚管理	治療(注射)	分娩移動	母豚の移動	仔豚移動	離乳豚舎より肥育豚舎へ移動
	治療(経口投与)		分娩看護、助産	治療	治療(注射)
種豚舎			鉄剤、下痢止、歯切(仔豚)	治療	治療(経口投与)
発情確認	離乳豚の発情、交配後の再発の確認	哺乳豚管理	給餌、水付	環境整備	豚舎周辺の草払い
交配	母豚を雄へ移動し、交配		治療(注射)	堆肥舎	
飲水	添加剤投与		治療(経口投与)	堆肥切り返し	ショベルで堆肥の切り返し
飲水	水量の確認、給水器(ピッカー)の点検		雄の去勢、断尾	堆肥移動	ショベルで堆肥の移動
治療	治療(注射)	母豚管理	分娩28~30日経過の母豚離乳	堆肥小屋清掃	堆肥小屋のパイプ清掃
給餌	母豚移動後、給餌器の水洗い	離乳豚管理	ワクチン接種、鉄剤注射	堆肥持出し	堆肥を各班へ持出し
駆虫	虫の駆除	環境整備	豚舎周辺の除草、下草払	茅切り	堆肥に混ぜ込む茅の細断
尿汲み	尿の汲み取り		豚舎周辺の側溝の清掃		
豚舎内修繕	不具合箇所の溶接、修理				

農福連携等推進ビジョン

ノウ フク

(目次) 抜粋

I 農福連携等の推進に向けて

II 農福連携を推進するための3つのアクション

- 1 認知度の向上(課題「知られていない」)
- 2 取組の促進(課題「踏み出しにくい」)
 - (1) 農福連携に取り組む機会の拡大
 - (2) ニーズをつなぐマッチングの仕組み等の構築
 - (3) 障害者が働きやすい環境の整備と専門人材の育成
 - (4) 農福連携に取り組む経営の発展

III 「農」「福」連携の拡がりへの展開

- 1 「農」の拡がりへの支援
- 2 「福」の拡がりへの支援
 - (1) 働きづらさや生きづらさを感じている者に対する取組
 - (2) 犯罪や非行をした者の立ち直り支援に向けた取組

農福連携の推進について

(福祉から農へのアプローチ)

ノウ フク

- I 交流イベントや農業体験
- II 障がい者は農作業ができる
※作業内容の細分化によるユニバーサルデザイン化
- III 障がい者と農業者とのマッチング
- IV 障がい者福祉施設が自ら農業経営
(農業法人と社会福祉法人との連携)
 - 1 農地の確保
 - 2 農業技術の習得・集積
 - 3 自然災害対策
 - 4 六次産業化



農福連携の推進について

(農家・農業法人と
障がい者福祉事業所とのマッチング)



*地域農業の生産物の把握

*地域農家等の繁忙期の把握

*働き手の需要・作業内容の把握

*「地区農作業標準料金」の利活用など

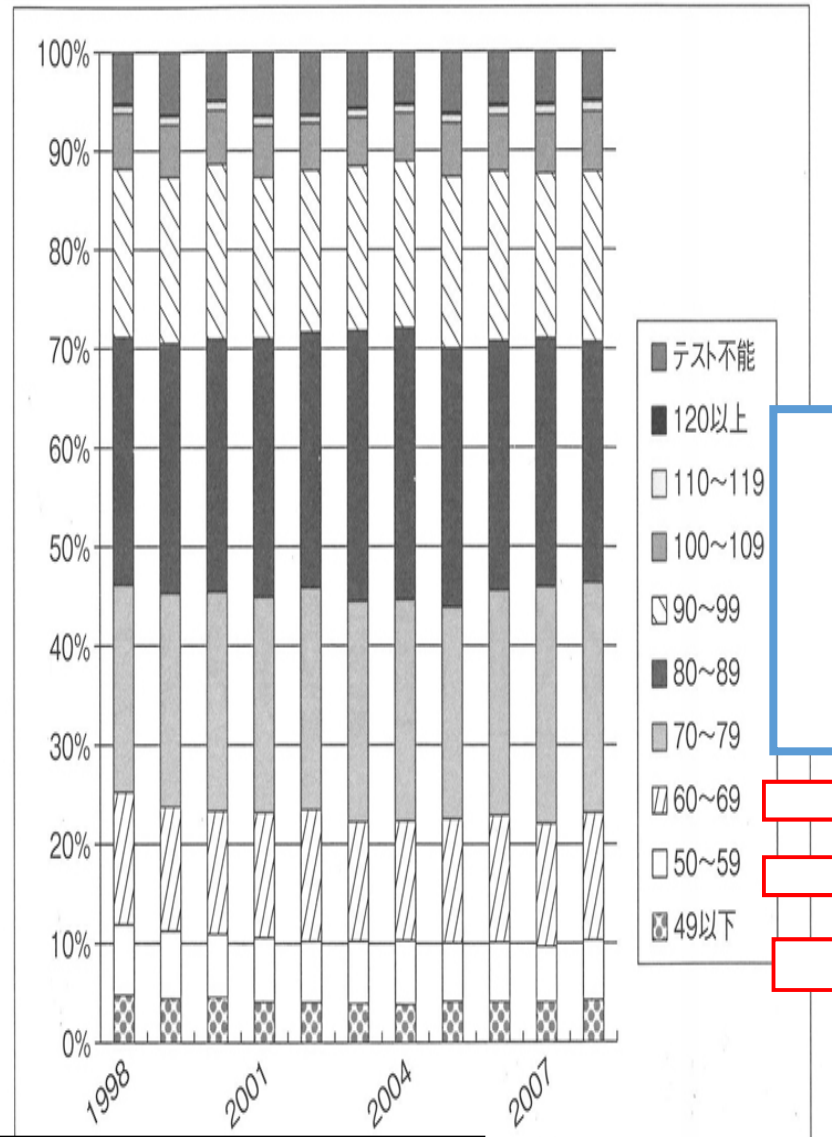
*農業技術研修, トライアル作業

*相互理解促進のための体験・交流, 適用保険の確認など



花の木農場とソーシャルファーム

一般就労



ヨーロッパでは、第3の分野として
 ソーシャルエンタープライズ(社会企業)があり
 社会的な目的をビジネス手法で行うもの。
 ソーシャルファーム Social Firmは、その一種
 (平成30年度 法務省主催シンポ パンプ抜粋)

別途, 社会事業利用

(狭間にある者)

療 B2
 育 B1
 手 A2
 帳 A1

社会福祉事業
 就労支援事業等
 利用可能対象者
 (知的障がい者)

一般就労

新受刑者のIQ別構成比の推移

矯正統計年報

長時間にわたり
おつきあいいただき
大変ありがとうございました
ございました



NANAMOKI FARM